

令和6年度6月号 [6月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

言葉かけ

校長 柳田 勇

例年より梅雨入りが遅いため、連日、真夏日が続き、体調を崩しがちな気候が続いております。生徒はもちろんのこと、保護者・地域の皆様におかれましても、季節の変わり目ですので、ご自愛いただけたらと思います。

6月17日より、学校総合体育大会が行われます。3年生の多くは、この大会の結果によって引退の日が決まります。また、1・2年生は、他校の生徒との対戦のため、学校生活とは違う環境で行動することになり、日頃よりも様々なことに気を遣うことが多くなります。部活動に所属していない生徒も特別日課になります。先日行われた壮行会では、勝敗にこだわるとともに、相手への敬意を忘れず、得た成果への振り返りをすることを伝えました。私たちが中学生の時にも、部活動等で大会に参加した時は、同じようなことを言われた経験があるかと思います。今振り返ると、自分の感情を抑えきれないケースの方が多かったのではないのでしょうか。

大会や試験には、必ず結果がついてきます。大会は勝負事ですので、多くの方が負けを経験します。大人になれば、チャンスは何度か巡ってくることや、自分の意欲次第で何度でもチャレンジできることはわかっていることです。しかし、中学3年間では、チャンスは何度もありません。限られたチャンスの中で、結果を出すことは難しいことです。生徒たちは難題に挑んでいる実感すらないまま、勝利を目指しています。それがどれだけかけがえのないものかは、後から知ることになると思います。そのような中で得た結果が、自分が思い描いたものとは違っていても、無駄なことではないことも大人になるとわかることです。しかし、生徒はそのことを理解できず、全てが駄目だと感じてしまう生徒がいるのも事実です。

「勝った人間にしかわからない」や「負けから学ぶ」など、勝負についての経験談は様々あります。しかし、生徒の心に残る一番の言葉は、自分を見守ってくれた方々からの言葉かけだと私は思っております。そこに至るまでの努力の過程を知る人からどのような言葉をかけられるかで、結果の価値を実感すると思うからです。言葉かけは人それぞれでよいと考えております。優しく語りかけても、厳しい言葉で励ましても、信頼している人からの言葉は生徒の胸に響くものです。

長い人生のスタート地点にいる生徒には、社会にでて逞しく生きていく準備の期間でもあります。保護者・地域の皆様には、大会のみならず、生徒への言葉かけをお願いできればと常に思っております。皆様からの言葉が、生徒を大人へと成長させていき、生徒にとっての一番の名言になるはずです。生徒を信じる一言を、ぜひお願いいたします。